

## 令和7年度 収集情報

項目	内 容
テーマ	食品添加物の正しい理解のための情報発信
要旨	<p>1 都民の食品添加物に対する理解と不安</p> <p>令和6年度に東京都が実施した都政モニターアンケート<sup>(1)</sup>では、食品の安全性について特に不安に思っている項目として、「食中毒」に次いで約半数が「食品添加物」と回答した。</p> <p>次に、同年度に実施した「若年層の食品安全に関する意識調査」<sup>(2)</sup>では、15歳（高校生）～25歳の若年層の約4割が「食品添加物について健康に影響があると思う」と回答し、約3割が「食品添加物についてわからない」と回答した。</p> <p>これらのことから、若年層を含む幅広い世代において、食品添加物に対して理解がされておらず、不安を感じている可能性が示唆された。</p> <p>2 食品添加物の役割や安全性評価に関する認知状況</p> <p>消費者庁が実施した「令和6年度食品表示に関する消費者意向調査」<sup>(3)</sup>では、「食品添加物は、安全性が評価されたものや我が国において広く使用されて長い食経験のあるものとして国に認められたものが、食品の加工又は保存の目的で使用されている」ことを知っている人の割合は、全体の半数をやや上回る程度にとどまっている現状が明らかとなった。</p> <p>3 都民への普及啓発</p> <p>東京都はこれまで、食品添加物についてホームページ<sup>(4)</sup>などにより情報発信をしてきてはいるが、都民が食品添加物について正しく理解した上で主体的に食品を選択できるよう、よりわかりやすく、効果的な普及啓発を進めていく必要がある。</p>
添付資料	<p>（1）東京都令和6年度第1回インターネット都政モニターアンケート 「食品の安全性について」調査結果（抄）</p> <p>（2）東京都「若年層の食品安全に関する意識調査報告書」（抄）</p> <p>（3）消費者庁「令和6年度食品表示に関する消費者意向調査報告書」（抄）</p> <p>（4）東京都H P 「食品衛生の窓」（食品添加物）</p>

# 令和6年度第1回 インターネット都政モニター調査アンケート

「食品の安全性について」

---

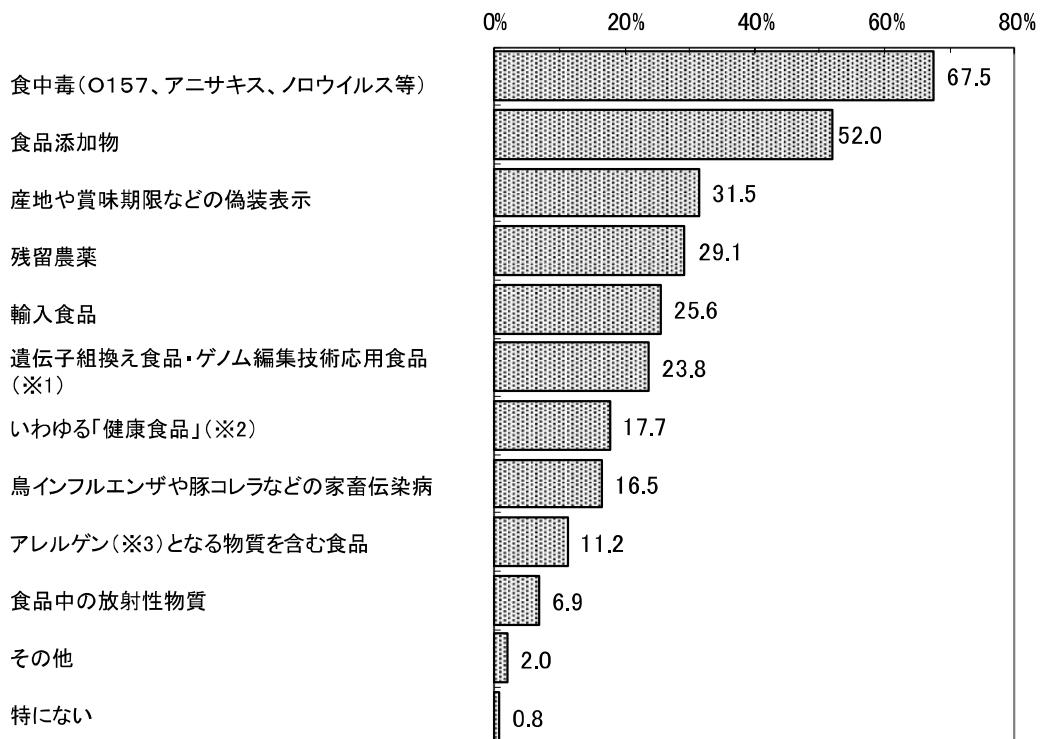
## 調査結果



## 食品安全について不安に思うこと

Q2 食品の安全性について、あなたが特に不安に思っていることは何ですか。次の中から3つまでお選びください。

3MA (n=492)



※1 ゲノム編集技術応用食品： ゲノム編集技術（一般に、DNAを切断する酵素を用いて、外部からの遺伝子の挿入だけでなく、既存の遺伝子の欠失や塩基配列の置換など、

ゲノムの特定の部位を意図的に改変することが可能な技術）を利用して得られた食品

※2 いわゆる「健康食品」：法律上の定義はないが、健康の維持・増進に役立つことをうたって販売されたり、そのような効果を期待して摂られている食品

※3 アレルゲン：アレルギーの原因となる抗原のこと

○義務表示 8品目 えび、かに、くるみ、小麦、そば、卵、乳、落花生

○推奨表示 20品目 いか、オレンジ、牛肉、大豆など

<参考>食品のアレルゲン表示

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/hyouji/shokuhyouhou\\_kakou\\_allergy.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/hyouji/shokuhyouhou_kakou_allergy.html)

### 【調査結果の概要】

食品安全について不安に思うことについて聞いたところ、「食中毒 (O157、アニサキス、ノロウイルス等)」(67.5%) が 7割近くで最も高く、以下、「食品添加物」(52.0%)、「産地や賞味期限などの偽装表示」(31.5%) などと続いている。

前回調査との比較（次頁）では、「食中毒 (O157、アニサキス、ノロウイルス等)」が 8.6 ポイント、「いわゆる「健康食品」」が 8.9 ポイント増加している。

# 若年層の食品安全に関する意識調査 報告書

令和7年3月

東京都保健医療局

### (3) 食品添加物についての考え方

Q3 あなたがふだん食べている食事の食品添加物について、どのように思いますか。

食品添加物については、「健康に影響があると思う」が 43.2%、「健康に影響が無いと思う」が 22.8%、「わからない」が 34.0%であった。

図表 10. 食品添加物についての考え方



性別では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、19歳～22歳は「わからない」の割合が39.0%と全体（34.0%）を5.0ポイント上回った。

図表 11. 【性別・年齢別】食品添加物についての考え方

		回答者数 (n)	思う 健康に影響があると	思う 健康に影響が無いと	わからぬ
全 体		579	43.2	22.8	34.0 (%)
性 別	男性	265	44.5	23.0	32.5
	女性	291	44.3	23.4	32.3
	答えたくない	23	13.0	13.0	73.9
年 齢	15歳～18歳	139	44.6	27.3	28.1
	19歳～22歳	187	41.7	19.3	39.0
	23歳～25歳	253	43.5	22.9	33.6

# 令和 6 年度食品表示に関する 消費者意向調査

## 報 告 書

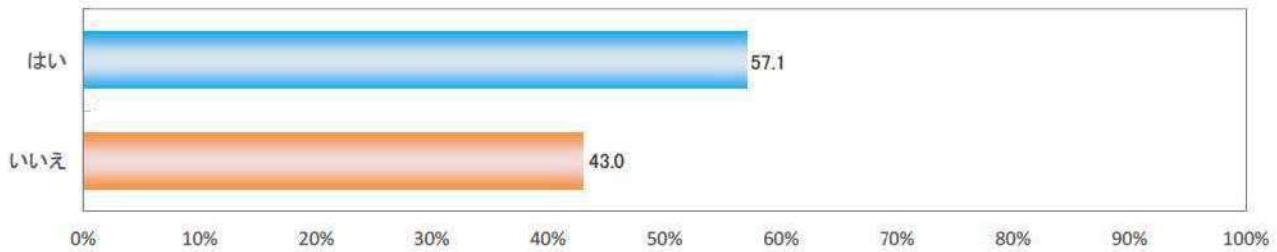
令和 7 年 3 月

調査委託者 消費者庁食品表示課

調査受託者 株式会社ロイヤリティ マーケティング

本報告書は、消費者庁の委託を受け、株式会社ロイヤリティ マーケティングが調査を行い取りまとめたものである。

Q16. あなたは、「食品添加物」は、安全性が評価されたものや我が国において広く使用されて長い食経験のあるものとして国に認められたものが、食品の加工又は保存の目的で使用されていることを知っていますか。  
 (お答えは1つ)



全体	男性							女性									
	男性計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	女性計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
n=	10,000	4,828	265	558	637	839	760	701	1,068	5,172	252	537	614	812	749	728	1,480
はい	57.1	54.9	63.0	50.4	43.3	46.4	47.2	59.5	71.3	59.1	57.1	43.8	44.3	47.3	57.1	68.3	74.0
いいえ	43.0	45.1	37.0	49.6	56.7	53.6	52.8	40.5	28.7	40.9	42.9	56.2	55.7	52.7	42.9	31.7	26.0

- ✓ 「食品添加物」は安全性について国に認められたものが、食品の加工又は保存の目的で使用されていることを知っている者の割合は 57.1%。

# 食品衛生の窓

[たべもの安全情報館](#)[食品事業者向け情報](#)[調査統計データ](#)[東京都の取組・制度](#)

知って安心  
～トピックス～

[化学物質関係](#)

[微生物関係](#)

[自然毒関係](#)

[畜産物関係](#)

[その他](#)

## 食品添加物

### 概要

### 食品添加物とは

### 食品添加物の分類

### 食品添加物の指定制度

### 食品添加物の使用基準と成分規格

### 用途別 主な食品添加物

### 食品添加物の表示方法（一般用加工食品における食品添加物の表示方法）

### 食品添加物に関する監視指導

### ▼ お問い合わせ先

・事業者の方 ・都民の方

このページは東京都保健医療局 健康安全部 食品監視課 規格基準担当が管理しています。

[▲このページのトップへ](#)

---

東京都保健医療局 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

[お問い合わせ先\(事業者の方\)](#)

[お問い合わせ先\(都民の方\)](#)

[このサイトについて](#)

Copyright © Bureau of Public Health, Tokyo Metropolitan Government. All rights reserved.

